

海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十八年十二月六日(月)

○郵便物發送先通知 (宛先ハ下段ノ通記載ノコト)

○艦船ノ部

一 長鯨、風雲

一 第四南遣艦隊司令部

一 第二百哨戒艇

○陸上ノ部

一 ニューギニア民政府

一 第六十二防空隊

一 第十九設營隊第一班

一 海上護衛總司令部

横須賀局氣付 長鯨、風雲

同 「七四〇七壹〇七」

吳局氣付 第二百哨戒艇

横須賀局氣付 「七貳參七六四」

吳局氣付 「七參貳七壹六」

同 「七貳貳〇貳〇壹〇八」

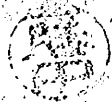
東京都麴町區霞ヶ關 海上護衛總司令部

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

九九

0589



海軍公報 (部内限) 號外

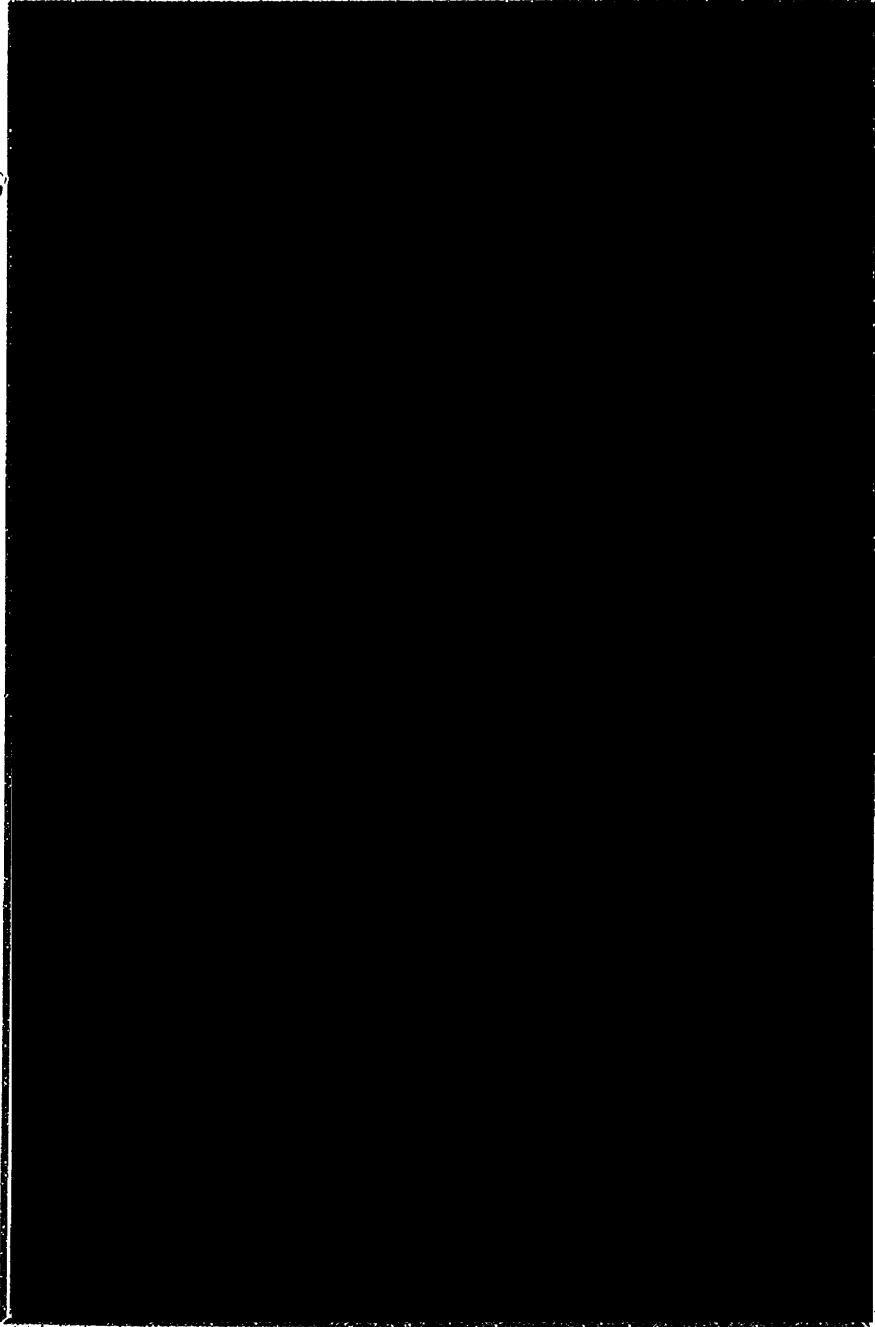
○ 判決

昭和十八年十二月六日(月)
海軍大臣官房

海軍公報 (部内限) 號外

0590

海軍公報 (部内限) 號外



0591

海軍公報 (部内限) 號外

三

0592

海軍公報 (部内限) 號外

四

0593

海軍公報 (部内限) 號外

五

0594

海軍公報 (部内限) 號外

六

0595

海軍公報
(部内限)
號外

七

0596

海軍公報
(部内限)
號外

八

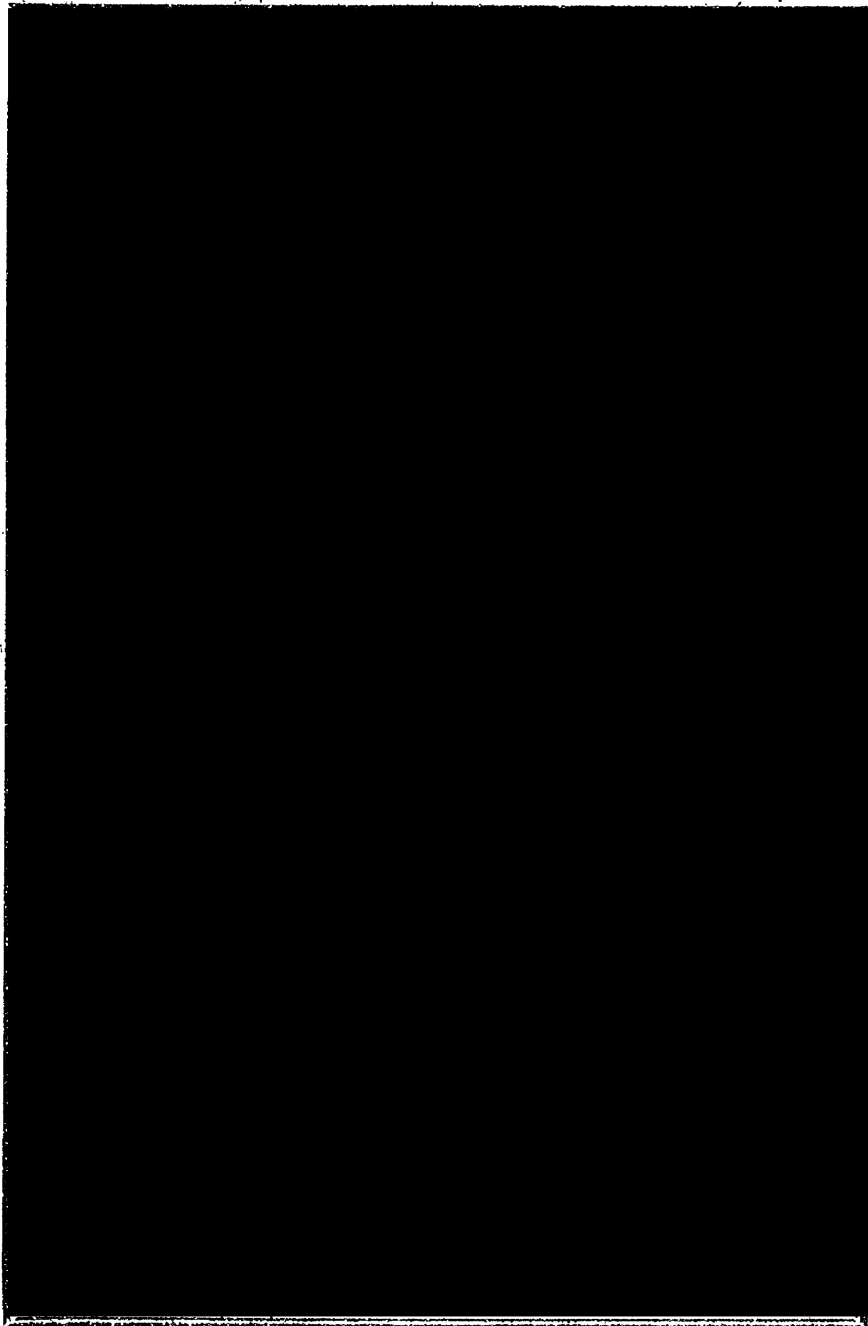
0597

海軍公報 (部内限) 號外

九

0598

海軍公報
(部内限)
號外



0599

海軍公報 (部内限) 號外

一三

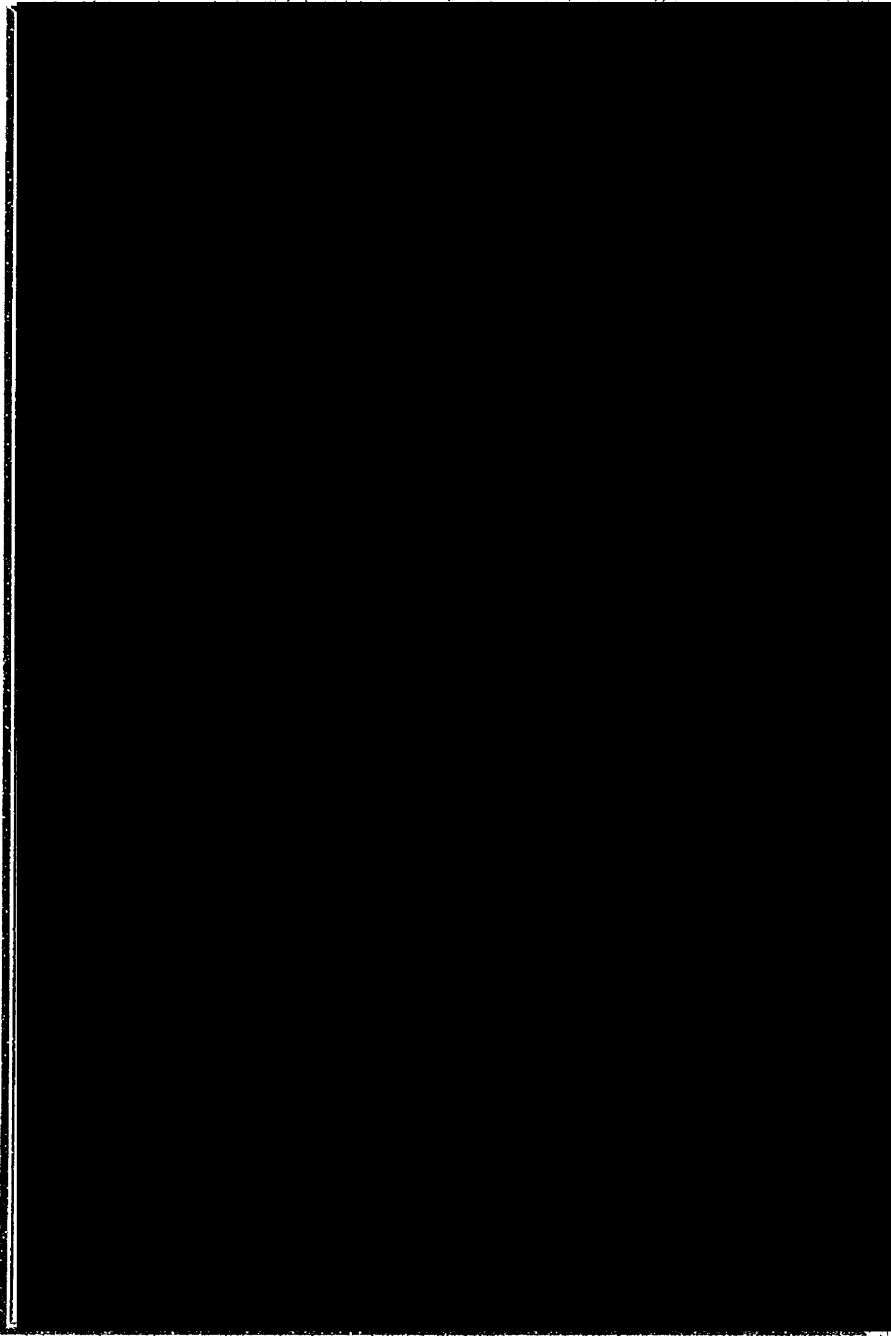
0600

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

海軍公報(部内長) 號外



0601

海軍公報 (部内限) 號外

一三

0602

海軍公報 (部内限) 號外

一四

0603

海軍公報 (部内限) 號外

一五

0604

海軍公報

(部内限) 第四千五百五十九號

昭和十八年十二月七日(火)

海軍大臣官房

○ 辭令

鐵道官 上原 要三郎

鐵道省雇 松澤 泰治

同 大井 康信

同 仁部 傳次郎

同 石崎 信

同 道下 四市

同 熊谷 榮廣

同 酒井 外吉

同 木阪 民夫

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

(各通)

同 岡田 亘
同 佐保 一人

海南警備府附ヲ免ス(計初同)

臺灣總督府編修書記 北島 現映

臺灣公立國民學校訓導 村山 信太郎

臺北郡視學 寺内 明

臺灣公立國民學校訓導 平田 精一

同 上野 重信

同 馬居 次雄

同 黃樹 雲

同 蘇明 輝

同 永田 親章

同 高田 祐明

同 垂長 文彦

同 豐田 榮吉

同 前間 重保

同 福山 賢吉

(各通)

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

(限 内 部)

海南警備府附ヲ免ス(計初同)

臺灣總督府技師 鈴木 忠五郎

海南警備府附ヲ免ス(計初同)

臺灣總督府技師 河田 幸一郎

海南警備府附ヲ免ス(計初同)

臺灣總督府技師 黒河 正

海南警備府附ヲ免ス(計初同)

臺灣總督府技師 同

海南警備府附ヲ免ス(計初同)

臺灣總督府技師 同

海南警備府附ヲ免ス(計初同)

臺灣總督府技師 同

海軍公報(部内限) 第四千五百五十九號 昭和十八年十二月七日

一三二七

0605

臺灣公立國民學校訓導

水田 穰

同 吉水 富房

同 邱 森 鏘

同 林 雲 霞

同 小倉 保幸

同 守田 茂治

同 下岡 信夫

同 山崎 直太郎

海南警備府附ヲ免ス(註同)

軍令部出仕海軍中佐 山田 盛重

第二部第三課勤務ヲ命ス

軍令部部員海軍少佐 太田 守

第三部勤務ヲ命ス(以上註同)

海軍少佐 太田 守

參謀部第三部勤務ヲ命ス(註同)

海軍主計兵曹長 松崎 晴夫

第二十一號掃海艇ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂

ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(註同)

海軍省經理局長

海軍中佐 河野 通俊

第二課勤務ヲ命ス

(各通)

海軍主計中佐 松原 英三

海軍主計少佐 子安 榮春

同 堀 俊藏

糧食生産班員ヲ命ス(註同)

○ 雜 款

○事務開始

淡水航空基地ハ十一月十五日臺灣高雄州東港郡東港街東港航空基地内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去

第二十四設營隊第二部隊事務所ハ十一月三十日之ヲ撤去セリ

○訂正

十月十三日公報(部内限)號外辭令欄三〇頁下段二十行目「久注 運」ノ報酬額「參千五拾貳圓」ハ「參千五拾圓」ニ訂正

海軍技術大尉正七位岡野永敏外四名飛行作業中遭難殉職、十一月二十二日横須賀海軍航空隊ニ於テ海軍葬儀執行セリ

0606

海軍公報

(部内限) 第四千五百六十號

海軍大臣官房

昭和十八年十二月八日(水)

○ 令 達

官房經機密第八九七號

損害補償及慰籍内規外一件中左ノ通改正ス

昭和十八年十二月七日

海 軍 大 臣

一 損害補償及慰籍内規中左ノ通改正ス

第二條中「五百圓」ヲ「千圓」ニ改ム

第三條中「五百圓」ヲ「千圓」ニ、「三百圓」ヲ「五

百圓」ニ改ム

第九條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ海軍大臣ノ認許ヲ得テ實施シタルモノニ付テ

ハ此ノ限ニ在ラズ

二 公金類損害補償内規中左ノ通改正ス

第一條第一項中「所屬長官」ノ下ニ「(艦船部隊殘務

整理班ニ於テ處理ノモノニ付テハ當該班ノ所屬鎮守

府司令長官トス以下之ニ同ジ)」ヲ加フ

第三條中「五百圓」ヲ「千圓」ニ改ム

第八條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ海軍大臣ノ認許ヲ得テ實施シタルモノニ付テ

ハ此ノ限ニ在ラズ

(參照) 損害補償及慰籍内規ハ海軍機密會計法規類集九七頁
公金類損害補償内規ハ海軍機密會計法規類集九九頁

官房經機密第八九八號

昭和十五年官房機密第八一七一號中左ノ通改正ス

昭和十八年十二月七日

海 軍 大 臣

特設海軍航空廠ノ項ヲ削ル

附 則

本令ハ昭和十八年十一月二十二日ヨリ之ヲ適用ス

(參照) 機密會計法規類集二一五頁

○ 雜 款

海軍公報(部内限) 第四千五百六十號 昭和十八年十二月八日

一三二九

0607

○司令驅逐艦變更
第一驅逐隊司令ハ十一月三十日司令驅逐艦ヲ沼風ニ變更セリ

○試験問題發送

普通科 砲術 特技章附與第二回銜試驗問題
(試驗期日 十二月十三日)

右十月三十日左記ノ通發送濟

記

一 聯合試驗參加不能ト認メラルル所轄ヘハ直送
二 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部長(横須賀ヲ除ク)及各警備府參謀長宛送付

三 行動變更其ノ他ノ都合ニヨリ臨時必要ノ分トシテ若干各海軍人事部長、各警備府參謀長宛送付シ置ケ
未着者ハ臨時必要ヲ生ジタル向ハ最寄ノ右諸官ヨリ受領スルカ又ハ直接本校ニ請求相成度
(横須賀海軍砲術學校)

○書類發送ニ關スル件照會

第一海上護衛隊宛書類ヲ第一海上護衛隊東方面部隊宛送付ノモノ枚舉ニ違無ク之ヲ當隊宛回送シツツアル現狀ニ有之斯クテハ事務進捗上多大ノ遅延ヲ來スニ付自今左ニ依リ送付相成度
一 第一海上護衛隊宛ノモノ

佐世保郵便局氣付 高雄局經由 イ參六司令部
一 第一海上護衛隊東方面部隊宛ノモノ
テ貳壹テ參參
一 第一海上護衛隊西方面部隊宛ノモノ
イ壹九 イ五四
(第一海上護衛隊)

○事務開始

菲島方面航空基地準備委員事務所ハ十一月二十三日第九五四海軍航空隊(テ貳壹テ壹九)内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○訂正

十一月二十四日附公報(部内限)令達官房空第三八九號別紙書式第一中「航空技術廠通常物品會計官吏殿」トアルヲ「、、航空廠通常物品會計官吏殿」ニ訂正

0608

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十八年十二月八日(水)

○ 辭 令

國洋丸二等運轉士 佐藤 實
囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (昭和十八年海軍省)

國洋丸二等運轉士 佐藤 實
(昭和十八年十二月二十九日附)

國洋丸機關長 関 七重郎
(昭和十八年六月二日附)

國洋丸二等機關士 筒井 武雄
(昭和十八年六月十一日附)

國洋丸一等機關士 住吉 正儀
(昭和十八年六月二十二日附)

國洋丸一等運轉士 古田 領一
(昭和十八年六月十七日附)

國洋丸船長 柳岡 積次
(昭和十八年六月十九日附)

囑託ヲ解ク (以上同)

國洋丸機關長 林 武男
(昭和十八年六月二日附)

(各通)

國洋丸一等機關士 中村 俊夫
(昭和十八年六月十二日附)

國洋丸一等運轉士 松本 滿次
(昭和十八年六月十七日附)

國洋丸船長 江口 吉藏
(昭和十八年六月十九日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上同)

君島丸一等機關士 河合 勝治
(昭和十七年十二月一日附)

君島丸二等運轉士 鬼塚 善臣
(昭和十八年三月二十二日附)

君島丸二等機關士 佐藤五左衛門
(昭和十八年三月二十三日附)

君島丸船長 大成 俊彦
(昭和十八年八月二日附)

君島丸一等機關士 東 清八
(昭和十八年八月十九日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上同)

君島丸一等機關士 植木 幸三
(昭和十七年十一月一日附)

海軍公報 (部内限) 號外

0609

(各通)

君島丸二等機關士 佐藤五左衛門
(昭和十八年五月二十八日附)

君島丸船長 篠原 廣次
(昭和十八年八月二日附)

君島丸一等機關士 河合 勝治
(昭和十八年八月十九日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

山西丸船長 竹原 茂吉
(昭和十七年十一月十一日附)

(各通)

山西丸無線局長 前田 俊彦
(昭和十八年五月二十九日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

山西丸機關長 鶴卷 六朗
(昭和十七年九月十六日附)

(各通)

山西丸一等運轉士 原田 弘人
(昭和十七年九月二十四日附)

山西丸一等機關士 田中 次郎
(昭和十七年十月十七日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

山西丸船長 金丸 吉十
(昭和十七年十一月十一日附)

(各通)

山西丸無線局長 中村 昇
(昭和十八年五月二十九日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

(各通)

藤影丸無線局長 菊本 勝郎
(昭和十七年十一月三十日附)

藤影丸機關長 伊藤 藤太郎
(昭和十八年二月十三日附)

藤影丸船長 元川 岩太
(昭和十八年五月十三日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

藤影丸一等運轉士 岡村 貞繼
(昭和十七年八月二十二日附)

(各通)

藤影丸機關長 中濱 壽郎
(昭和十八年四月十一日附)

藤影丸船長 平岡 種市
(昭和十八年五月十三日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

日新丸首席一等運轉士 横木 政榮

囑託ヲ解ク

日新丸首席一等運轉士 松下 類藏

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

日出丸一等運轉士 中川 源廣

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

日出丸一等運轉士 中川 源廣

囑託ヲ解ク(以上同)

(各通)

秋葉山丸一等機關士 徳本 義人

(昭和十八年二月二十五日附)

秋葉山丸一等運轉士 池田 啓一

(昭和十八年二月二十六日附)

秋葉山丸二等運轉士 早川 音也

(昭和十八年八月十三日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

秋葉山丸一等機關士 谷口 春次郎

(昭和十八年一月二十五日附)

(各通)

秋葉山丸一等運轉士 安部 信夫

(昭和十八年一月二十六日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

秋葉山丸一等機關士 谷口 春次郎

(昭和十八年四月二十六日附)

(各通)

秋葉山丸一等運轉士 安部 信夫

(昭和十八年五月一日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

秋葉山丸一等機關士 伊藤 寛

(昭和十八年四月二十六日附)

(各通)

秋葉山丸一等運轉士 中尾 豊

(昭和十八年五月一日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

第二日新丸船長 横木 政榮

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

(各通)

會幸丸首席通信士 堂野前勝次

(昭和十八年二月二十三日附)

會幸丸一等運轉士 森田 六一

(昭和十八年五月九日附)

會幸丸一等機關士 森川 教人

(昭和十八年八月四日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

福山丸機關長 長島 權治

囑託ヲ解ク(以上同)

福山丸機關長 山野 邦介

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

鳴門丸二等機關士 横山 佳一

(昭和十八年三月二十四日附)

鳴門丸通信局長 岩本 彦一

(昭和十八年三月二十五日附)

鳴門丸機關長 齋藤 郁之助

(昭和十八年三月二十六日附)

鳴門丸一等運轉士 鳴 嘉一郎

(昭和十八年四月九日附)

鳴門丸事務長 上野 己三郎

(昭和十八年四月十三日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

鳴門丸三等機關士 荒木 理

(昭和十八年三月十九日附)

0611

鳴門丸二等機關士 渡部 義治

(昭和十八年三月二十四日附)

鳴門丸通信局長 高木 正雄

(昭和十八年三月二十五日附)

鳴門丸機關長 加藤 源吉

(昭和十八年三月二十六日附)

鳴門丸一等運轉士 林 留次郎

(昭和十八年四月九日附)

鳴門丸事務長 新部 國次郎

(昭和十八年四月十二日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

とから丸船長 青木 辰

同 機關長 渡部 時治

同 一等機關士 大槻 秀次

同 二等運轉士 川原田 正

同 通信局長 仲宗根 正行

囑託ヲ解ク(部内同)

第二號興東丸機關長 吉平 京一

(昭和十八年四月十五日附)

(各通)

第二號興東丸事務長 横尾 正雄

(昭和十八年七月十八日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

康福丸一等運轉士 村尾 佐七

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(部内同)

球磨川丸通信局長 大出 孝則

(昭和十八年六月十一日附)

球磨川丸機關長 多田 虎雄

(昭和十八年六月十三日附)

球磨川丸二等機關士 中澤 實

(昭和十八年六月二十一日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

武豐丸機關長 矢田 勝

(昭和十八年六月十八日附)

(各通)

武豐丸事務長 吉田 清臣

(昭和十八年七月四日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

武豐丸機關長 熱田 晃

(昭和十八年六月十八日附)

(各通)

武豐丸事務長 武山 好一

(昭和十八年七月四日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

武豐丸 船長 梁瀬 聖

同 一等運轉士 松島 二雄

同 二等運轉士 三重野 猛虎

同 一等機關士 大坪 喜六

同 首席二等機關士 賀來 純一

同 首席通信士 高橋 善藏

囑託ヲ解ク(部内同)

0612

菊川丸通信局長 阿比留 正男

囑託ヲ解ク(按)同

第五日の丸通信局長 森田 杲

囑託ヲ解ク(按)同

第五日の丸二等運轉士 川村 信男

(各通)

第五日の丸通信局長 大川 七郎

(昭和十八年六月二十一日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

東京丸事務長 有賀 幸彦

囑託ヲ解ク(按)同

拓南丸船長 榊原 理一

囑託ヲ解ク(按)同

兩徳丸通信局長 加藤 諒

(各通)

兩徳丸機關長 鈴木 仲輔

(昭和十八年七月二十七日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

雷山丸 船長 大江 壽一

同一等運轉士 橋谷 一夫

(各通)

同一等運轉士 可部 萬市

機關長 内田 寅太郎

同一等機關士 加藤 綱彦

同 通信局長 松永 末男

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(按)同

陸洋丸 船長 内川 徹男

同一等運轉士 中村 富男

(各通)

同 機關長 河田 虎雄

同一等機關士 小野 稔

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(按)同

同 首席通信士 松尾 英逸

東裕丸一等運轉士 島田 光三

(各通)

同 一等機關士 宮原 元輔

(以上昭和十八年七月八日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

東裕丸船長 島地 巖

(昭和十八年十一月十一日附)

(各通)

東裕丸一等運轉士 明鏡 間 榮

東裕丸船長 弓削 虎雄

北江丸二等機關士 山本 昌一

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(按)同

0613

(各通)

乾進丸 船長 大野 義一
同 一等運轉士 池田 利幸
同 機關長 城塚 精一
同 一等機關士 竹澤 鉦應
同 無線局長 宮崎 一興

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (八附同)

宮崎丸船醫 梅垣 正身
(昭和十八年七月十八日附)

(各通)

宮崎丸二等運轉士 本橋 一雄
(昭和十八年八月四日附)
宮崎丸事務長 栗本 素雄
(昭和十八年八月五日附)

囑託ヲ解ク (以上同)

宮崎丸船醫 嵯峨根 忠雄
(昭和十八年七月十九日附)

(各通)

宮崎丸二等運轉士 飯田 晋造
(昭和十八年八月四日附)
宮崎丸事務長 沖田 巳之吉
(昭和十八年八月五日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上同)

(各通)

興業丸無線局長 帆引 俊正
(昭和十八年七月十九日附)
興業丸一等運轉士 宮永 豊彦

囑託ヲ解ク (以上同)

同 一等機關士 幾度 俊輔
(昭和十八年七月二十一日附)

(各通)

興業丸一等運轉士 山本 龍一
同 一等機關士 石井 之男
同 無線局長 佐竹 慶治

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (七附同)

(各通)

長和丸 船長 小林 佳隆
同 一等運轉士 瀬戸口 靜熊

囑託ヲ解ク (七附同)

長和丸船長 小柳 信次

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (七附同)

射水丸一等運轉士 大西 正作

囑託ヲ解ク (八附同)

彭山丸 船長 村田 新作
同 一等運轉士 大塚 竹松

(各通)

同 二等運轉士 北川 誠三
同 機關長 山中 岩雄
同 一等機關士 鈴木 英明
同 首席通信士 宮本 三郎

囑託ヲ解ク (八附同)

(各通) 神洋丸一等運轉士 中本 秋人

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (六〇日同) 同 二等運轉士 田村 鎮清

第二日新丸次席一等機關士 江口 喜市
囑託ヲ解ク (六〇日同)

(各通) 神盛丸一等運轉士 宇賀村 鉄次郎
(昭和十八年八月十八日附)
神盛丸一等機關士 古賀 清七
(昭和十八年八月二十二日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上同) 屏東丸三等機關士 細田 幸次郎

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (三十日同) 檜丸船長 吉田 四方平

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (三十日同) 朝日丸二等運轉士 清藤 末治

囑託ヲ解ク (二十五日同) 朝日丸二等運轉士 山田 節郎

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (十五日同) 三江丸機關長 清水 亨

(各通) 同 一等運轉士 出淵 嘉男
同 無線局長 三澤 正吉

囑託ヲ解ク (二十七日同)

昌壽丸一等運轉士 清水 渉
囑託ヲ解ク (三十八日同)

鐵洋丸船長 井上 幸太郎
囑託ヲ解ク (三十八日同)

鐵洋丸船長 三浦 岩太郎
囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (三十八日同)

金井丸船長 谷村 清
囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (三十八日同)

日吉丸船長 帶賀 雅吉
同 機關長 山下 龜助

囑託ヲ解ク (三十八日同) 日吉丸船長 小田 豊松
同 機關長 竹谷 吉次郎

(各通) 會昌丸 船長 奥山 彰
同 一等運轉士 眞田 武治

(各通) 同 二等運轉士 藤原 實藏
同 機關長 淺井 山惟

同 一等機關士 藤原 文人
同 無線局長 三浦 直一

囑託ヲ解ク (六日同)

0615

桃川丸一等機關士 土屋 榮一
囑託ヲ解ク (請同)

桃川丸一等機關士 谷本 鈴夫
囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (請同)

九徳山丸船長 小川 金太郎
囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (請同)

第二十御影丸船長 坂口 常太郎
同 一等運轉士 矢野 喜一郎

同 二等運轉士 田中 重房
同 機關長 藏 永 多作

同 無線局長 永島 寅吉
同 一等機關士 松村 定式

信陽丸二等運轉士 安會 徳三
囑託ヲ解ク (請同)

信陽丸一等機關士 唐津 種藏
信陽丸一等運轉士 永井 小太郎

田子の浦丸船長 川村 忠司
同 一等運轉士 福野 多作

同 機關長 山崎 富雄
(各通)

同 一等機關士 岩井 啓祐
囑託ヲ解ク (請同)

明石山丸通信局長 中野 秋一
囑託ヲ解ク (請同)

海光丸一等運轉士 川村 正俊
囑託ヲ解ク (請同)

海光丸一等機關士 櫻井 松造
囑託ヲ解ク (以上同)

海光丸一等運轉士 田崎 清作
海光丸一等機關士 岡野 彦藏

陽光丸船長 岡田 常吉
同 機關長 田中 甚一

同 一等運轉士 中川 松一
囑託ヲ解ク (請同)

乾祥丸二等運轉士 上神 久美
乾祥丸船長 深野 洋一

乾祥丸一等運轉士 上神 久美
乾祥丸船長 深野 洋一

乾祥丸一等運轉士 上神 久美
乾祥丸船長 深野 洋一

0616

(各通)

乾祥丸一等機關士 千才 勇次、

(昭和十八年八月十六日附)

乾祥丸船長 春光 清太郎

(昭和十八年八月二十二日附)

乾祥丸二等運轉士 山下 好文

(昭和十八年九月二十一日附)

屬託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

天城山丸船長 黒坂 基文

屬託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

0617

(限内部)

海軍公報

(部内限)第四千五百六十一號

昭和十八年十二月九日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房人機密第九五〇號

本年十二月五日現在横須賀鎮守府第七特別陸戰隊職員タル者ハ特ニ發令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ第八十九警備隊ノ各相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ

昭和十八年十二月五日

海軍大臣

官房第一三六八號

部外ヨリ購入ノ水船一隻ヲ雜役船ニ編入シ其ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十八年十二月七日

海軍大臣

公稱番號	船種	所屬	定數	別記	事
第六七五號	水船 (自走) (三十噸級)	紀伊防備隊	臨時	元所有者 大阪市港區西田中 町三日目 松尾繁太郎	

官房經機密第九〇三號
昭和十六年官房機密第一二六三九號中左ノ通改正ス
昭和十八年十二月八日

海軍大臣

第一項第二號中「特設海上護衛隊、」ヲ削リ「南洋群島ヲ除ク」ノ下ニ「以下之ニ同ジ」ヲ加ヘ同號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ
一ノ二 特設海上護衛隊ニシテ本邦ニ在ルモノ
同項第五號中「(南島島、新南群島及南洋群島ヲ除ク)」ヲ削ル
第三項中「及第二號」ヲ「乃至第二號」ニ改ム

附則

本令ハ昭和十八年十一月十五日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(參照) 海軍機密會計法規類集二一〇頁

官房經第一三三二一號
當分ノ間豫備士官又ハ豫備准士官召集セラレ就職シタ

海軍公報(部内限)第四千五百六十一號 昭和十八年十二月九日

一三三一

0618

ルトキハ一回限リ豫備士官ニ在リテハ海軍給與令第十表ノ初任手當相當額ノ三分ノ一ヲ、豫備准士官ニ在リテハ同表初任手當相當額ノ四分ノ一ヲ支給ス。前項ニ依リ手當ノ支給ヲ受ケタル豫備准士官ニシテ豫備士官ニ任用引續キ召集セラレ就職シタルトキハ一回限リ前項ノ手當額ト已ニ支給ヲ受ケタル手當額トノ差額ヲ支給ス。

昭和十八年十二月八日

海軍大臣

(註) 昭和十二年官房第四二五八號決裁ハ自然消滅

官房教第六五號ノ三

昭和十八年官房教第六五號中左ノ通改正ス

昭和十八年十二月九日

海軍大臣

第一號口、第二號口及第三號口中「六月」ヲ「四月」ニ改ム

(参照) 七月二日及八月二十八日海軍公報(部内限)

○通牒

經給第一八二號

昭和十八年十二月八日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

海軍徵用工員ニ對スル作業服貸與ニ關スル件中改正ノ件通牒

本年經給第一〇號中左ノ通改正ス

記

「海軍徵用工員規則第十條」ヲ「戰時海軍工員規則第七十八條」ニ改ム

(参照) 海軍機密會計法規類集卷三、一七九頁

艦本機密第一號ノ一六八四〇

昭和十八年十二月六日

海軍艦政本部總務部長

關係廳長殿

二十五耗機銃信管取扱ニ關スル件通知

首題信管ハ彈丸ニ裝着ノ上供給ノコトニ定メラレタルヲ以テ從來彈藥包、信管個別供給セラレタルモノモ預入又ハ還納ノ際信管取外ノ要無之ニ付了知相成度。追テ信管附彈藥包ハ填板ヲ取除ケバ從來ノ格納筐ニ

收納可能ニ有之候

○ 辭 令

(各通)

通信書記補 小柳 茂

事務員 福田 信義

第一海軍軍用郵便所員ヲ免ス

同 松岡 熊太郎

(各通)

集配員 甚野 政晴

第六海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上^{三三}海軍省)

通信書記 内山 豊太郎

第十一海軍軍用郵便所員ヲ免ス(同上)

事務員 高原 勝太郎

第六海軍軍用郵便所員ヲ免ス(同上)

同 志土地 藤雄

同 佐藤 平二

集配員 菅井 秀男

同 牟田口 猛雄

第七海軍軍用郵便所員ヲ免ス

通信書記 梅田 庄平

遞信局書記 竹永 俊夫

(各通)

通信書記補 木村 之

事務員 川瀧 信行

同 若松 澄治

同 横尾 佐造

第一海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上^{三三}同)

通信院屬 小沼 義正

第一海軍軍用郵便所員ヲ免ス(同上)

第四十二警備隊 内藤 淳

司令海軍大佐

海軍軍法會議法第七十三條ノ二ニ依リ海軍司法警察官トシテ勤務スル者ニ指定ス

同 中野 勝次

海軍軍法會議法第七十三條ノ二ニ依リ海軍司法警察官トシテ勤務スル者ニ指定中ノ處指定ヲ解ク(以上^{三三}海軍大臣)

海軍主計大尉 伊藤 卓也

第百二海軍建築部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(同上)支出官 海軍省經理局長)

同 下田 國司

第百二海軍建築部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

同

第百二海軍建築部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

同

第百二海軍建築部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

同

昭和三十八年十二月九日

海軍公報(部内限) 第四千五百六十一號

昭和三十八年十二月九日

一三三三

0620

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上九四同) 伊藤 卓也
 同 阿部 尙好
 第二百海軍施設部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂
 ノ爲繼隊經費分任出納官吏ヲ命ス
 海軍主計少佐 下田 國司
 右同分任出納官吏ヲ免ス(以上九四同)
 海軍主計兵曹長 和田 今朝喜
 第十二海軍通信隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂
 ノ爲繼隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(以上九四同)
 海軍中佐 池上 二男
 總務課勤務ヲ命ス(以上九四同) 海軍運輸本部
 囑託(奏待) 多田 五郎
 第一課勤務ヲ命ス(以上九四同)
 海軍主計中佐 松原 英三
 總務課勤務ヲ命ス(以上九四同)
 海軍中佐 木内 三郎
 (各通) 海軍主計中佐 柴倉 壽夫
 總務課勤務ヲ命ス(以上九四同)
 海軍書記 横江 徳一
 會計課勤務ヲ命ス(以上九四同)

總務課勤務ヲ命ス(以上九四同) 海軍大佐 貴島 鞠徳
 總務課勤務ヲ命ス(以上九四同) 海軍大佐 川添 正則
 總務課勤務ヲ命ス(以上九四同) 海軍中佐 柴田 音吉
 總務課勤務ヲ命ス(以上九四同) 海軍中佐 雀部 利三郎
 總務課勤務ヲ命ス
 海軍中佐 杉本 端良
 (各通) 囑託(奏待) 望月 明
 同
 第一課勤務ヲ命ス(以上九四同) 海軍中佐 大井 篤
 總務課兼第一課勤務ヲ命ス(以上九四同) 海軍主計大尉 早田 和正
 會計課勤務ヲ命ス(以上九四同)

○雜 款

○事務所撤去
 第五十二號驅潛艇艇裝員事務所ハ十一月三十日之ヲ撤
 去セリ

○本日普通公報發行セズ

海軍公報 (部内限) 號外

海軍公報 (部内限) 號外

○ 懲罰

昭和十八年十二月九日 (木)
海軍大臣官房

海軍公報 (部内限) 號外

0622

海軍公報 (部内限) 號外

0623

海軍公報 (部内限) 號外

三

0624

海軍公報 (部内限) 號外

四

0625

海軍公報 (部内限) 號外

五

0626

海軍公報 (部内限) 號外

六

0627

海軍公報 (部内限) 號外

七

0628

海軍公報 (部内限) 號外

八

0629

海軍公報 (部内限) 號外

九

0630

海軍公報 (部内限) 號外

一〇

0631

海軍公報
(部内限)
號外

0632



（邦内長）
九

0633

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

海軍公報 (部内限) 號外

0634

海軍公報 (部内限) 號外

四

0635

海軍公報
(部内限)
號外

一五

0636

海軍公報 (前内限) 號外

一六

0637

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

海軍公報 (部内限) 號外

一七

0638

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

海軍公報 (部内限) 號外

一八

0639

海軍公報 (部内限) 號外

一九

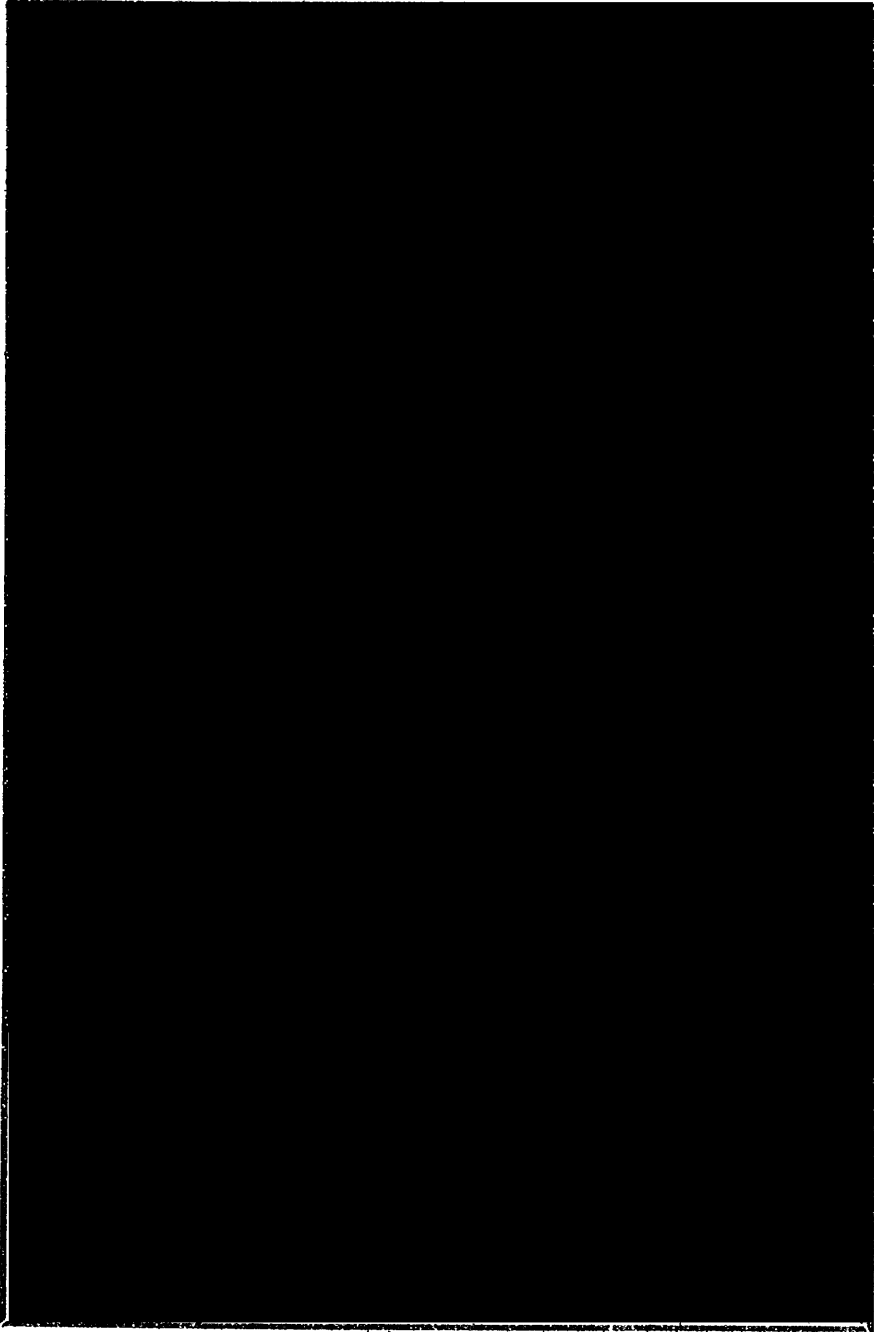
0640

海軍公報 (部内限) 號外

二〇

0641

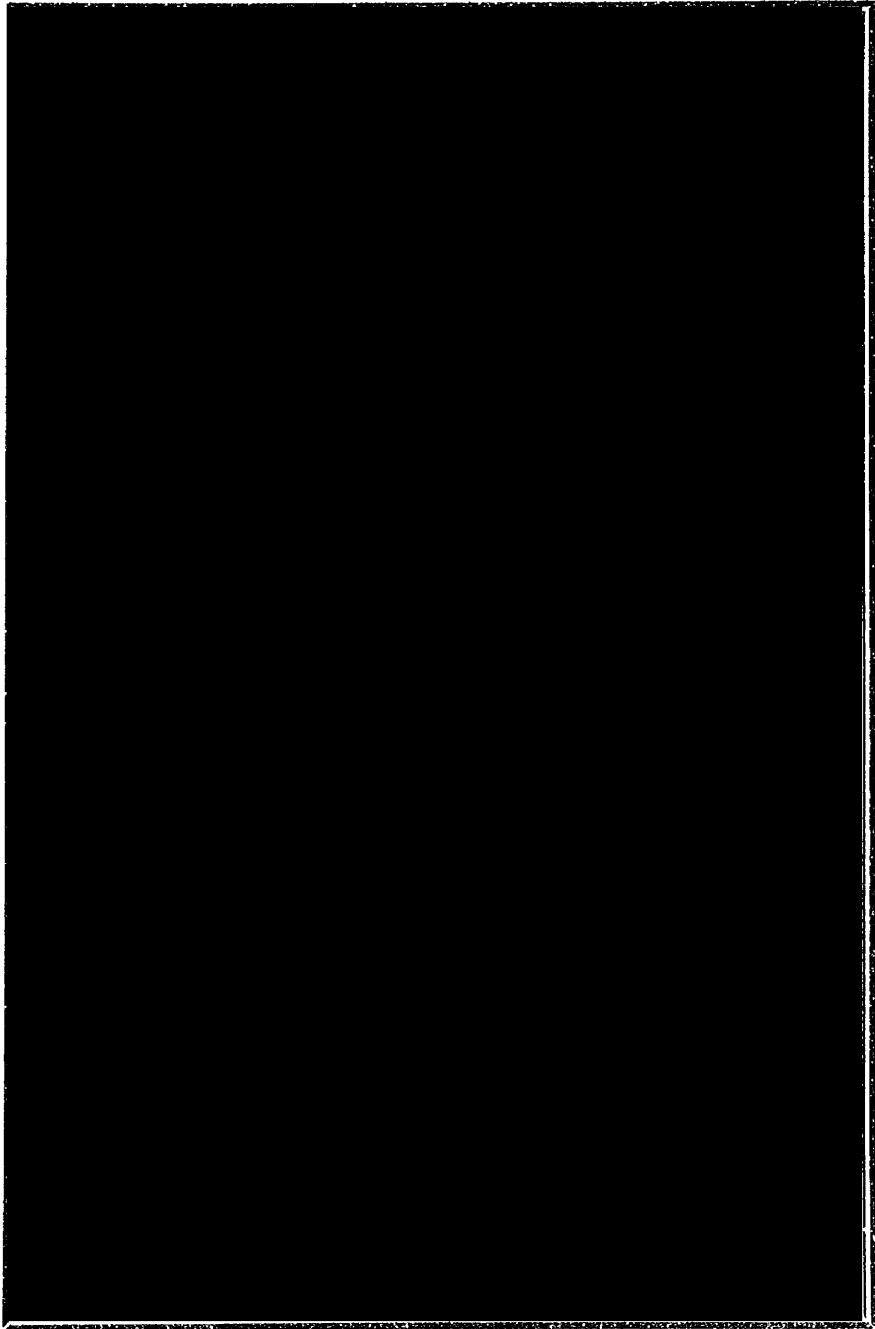
海軍公報 (部内限) 號外



三

0642

海軍公報 (部内限) 號外



0643

海軍公報 (部内限) 號外

二三

海軍公報 (部内限) 號外

二四

0645

海軍公報
(部内限)
號外

二五

0646

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

海軍公報 (部内限) 號外

二六

0647